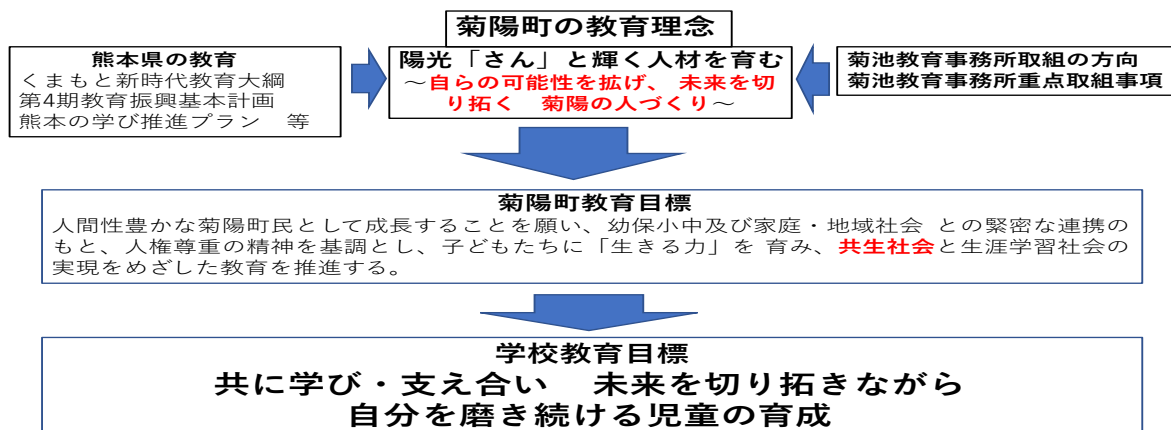


10 学校経営の方針

(1) 学校教育目標



(2) 学校経営方針

①学校組織としての姿勢

- ・チーム学年…児童の発達段階、実態から1年後の姿を見据えた教育活動を展開する。
- ・教育公務員としての姿勢…自己の職責を果たし、決まった事は徹底・遂行。まずやってみる。

②職員個々が人としての資質を磨く・教職員としての能力を向上させる意識

- ・人権感覚を磨く、人権意識を高める…計画的な研修実施、各種研修への積極的参加。
- ・学級経営力・授業力の向上…熊本の学び推進プランに基づいた実践力の向上。
校内研究への積極的な参画。

③充実した教育活動…『菊陽町教育委員会重点取組』に基づいた教育活動の充実

- ・各学年部が創意工夫…学年主任は、学校運営の中核であり、学年経営の中心である。
- ・固定担任制でもチーム担任制でも取組の方向は同じ！3つの課題改善を！
①学力の二極化 ②不登校(傾向)児童の増加 ③共生の教育の在り方
- ・問題事象・生徒指導事案…学年部対応、管理職との連携！絶対に複数で対応！



人権教育・特別支援教育の視点

(3) 共通認識のもと進める事

- ①学級・学年経営…児童の個性を肯定的に見て、学級・学年の中で生かす経営
- ②学力向上…学びの主体は児童。児童の発言等を活かす対応力と授業構成力
話を「聞く・聴く・訊く」ことで、状況に応じた言動ができる力を育成
- ③生徒指導対応の大原則
 - ・事実確認は、複数職員対応。・児童の人間性を否定しない。・毅然とした対応
 - ・他者が幸せに生きる権利を奪う言動は、許さない。

(4) 児童の前に立つために

児童の前に立ち、教育を行うための絶対条件は、危機管理意識を高く、広く持って対応することと、不祥事を起こさないことである。



菊陽町の教育理念・菊陽町教育目標

学校教育目標

共に学び・支え合い 未来を切り拓きながら 自分を磨き続ける児童の育成

主体的に学び続ける姿

児童に身に付けさせたい3つの力

自分磨き力

協働・共創・考動力

コミュニケーション力

check

do

取組の特色1 3年生以上による教科担当制・4年生以上によるチーム担任制導入

校内研究テーマ

共に学び・支え合い 自らを磨き続ける教職員集団を目指して
～指導力向上に向けた学びのプロセス～

教師が磨くべき4つの力

学校評価の検証

学級
経営
力

授業
実践

問題
対応

児童
観察

学校運営協議会の定期開催
地域学校協働活動の推進

action

plan

菊陽スタンダード・新そろえよう菊西の徹底

取組の特色2 調整授業時数制度（サキドリ）を活用した「裁量的な時間」の効果的運用

保護者との連携

学校・教職員の
教育的課題
↑
児童の姿

行政・関係機関との連携

重点対応課題（児童育成面）

- 学力の二極化対応
- 不登校・不登校傾向児童への対応
- 特別支援教育の充実・交流学級との連携

重点対応課題（資質・能力面）

- 授業力が向上する研究・組織体制の構築
- 学級経営における学級間格差への対応
- 人権感覚、意識の向上に繋がる取組

人 権 教 育

教育活動の根幹

特別支援教育

（６）学校経営の構想・重点努力事項

